

令和元年度 第1回文京区アカデミー推進協議会 会議録

日時	令和元年6月10日(月)午後6時30分～午後7時30分
会場	区議会第1委員会室
出席	委員：山田徹雄委員◎、田中雅文委員○、青木和浩委員、増田純委員、井上充代委員、酒井宏委員、高澤芳郎委員、牧野恒良委員、白井圭子委員、関誠委員、宮内秀和委員、佃吉一委員、堀正孝委員、山内豊委員、高橋由貴子委員、小島えりか委員、今井瑛里子委員(◎会長、○副会長) 幹事：小野光幸アカデミー推進部長、細矢剛史アカデミー推進部アカデミー推進課長、鈴木大助アカデミー推進部観光・都市交流担当課長、木村健アカデミー推進部スポーツ振興課長、日比谷光輝アカデミー推進部オリンピック・パラリンピック推進担当課長、川崎慎一郎教育推進部真砂中央図書館長 事務局(12名)、事業者(2名)
欠席	片貝憲二委員
資料	資料1 文京区アカデミー推進計画の改定について 資料2 文京区アカデミー推進計画に関する実態調査の実施について 資料3 文京区 アカデミー推進 協議会の進め方 について 資料4 令和元年度 スケジュール (予定) 参考資料1 文京区アカデミー推進協議会委員名簿 参考資料2 文京区アカデミー推進協議会幹事名簿 参考資料3 文京区アカデミー推進協議会の運営等について 参考資料4 文京区アカデミー推進協議会設置要綱

会議内容

1 開会

細矢課長

それでは時間となりましたので、協議会を開始させていただきます。本日はお忙しいところ、また雨の中、令和元年度 第1回文京区アカデミー推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます

本日、会長が選任されるまでの進行を務めさせていただきます、アカデミー推進課長の細矢と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは着座にて失礼させていただきます。

はじめに委員の出欠状況でございます。本日片貝委員より欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、大変恐縮ではございますが本日の資料に関しまして、お詫びをさせていただきますと思います。開催通知では、資料は事前送付とご案内させていただきましたが、準備の都合上、席上配付に変更させていただきました。大変申し訳ございませんでした。次回からは1週間前にお送りできるよう、準備をさせていただきます。誠に申し訳ございませんでした。それでは、本日席上に配付いたしました資料につきまして、確認をお願いしたいと思います。過不

足がございましたら、挙手をお願いいたします。お手元に配付をさせていただきました委嘱状と資料1から4、参考資料1から4、それとアカデミー推進計画の冊子ですね。厚いものと概要版ということで、閲覧用ということでお配りさせていただいております。そちらにつきましてよろしいでしょうか。では続きまして、本日は新しい委員をお迎えして初めての協議会でございますので、小野光幸アカデミー推進部長より、まずはご挨拶申し上げます。お願いいたします。

小野部長

皆さんこんばんは。アカデミー推進部長の小野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本日は大変お忙しい中、またお足元の悪い中、この協議会に出席いただきまして、誠にありがとうございます。

これからこの協議会でご協議いただきますアカデミー推進計画は、「区内まるごとキャンパスに」という基本理念の下、生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流という5つの分野において、文京区基本構想における将来都市像を実現するための事業計画、という位置づけでございます。

計画では、いつでも、どこでも、誰でも、学びや交流の機会に日常的に触れられ、交流を通じて人づくり、人と人とのつながりを生み出し、新たな価値、また資源の創造からより広い交流へとつなげることを目標としており、基本理念のサブタイトルに『「文の京」豊かな学びと交流を生み出すまち』としております。

皆様にご協議いただきます、これからの2年間、現行計画の評価、並びに計画改定案の策定について、お願いすることとなりますが、この計画の目指す「豊かさ」。時間、うるおい、広がりなど、様々な豊かさがあるかと思いますが、少しでもこの「豊かさ」、達成できるよう、点検、評価、実現度調査等について、皆様にご意見、ご提案、そしてご議論いただきまして、新しい時代、令和に相応しい計画の改定へとつなげていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

この協議会、2年間という長丁場でございます。協議会の運営につきましては、皆様にご議論しやすいように進めて参りたいと思っておりますが、この度の資料の事前送付の件等、多々不備があるかと思ひます。皆様に率直な意見を伺いながら、改善するものは改善して、少しでも実りのある会にしていきたいと思っておりますので、会のご協力もお願ひ申し上げまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

2 委員委嘱

細矢課長

ありがとうございました。続きまして委員の委嘱でございます。委嘱状につきましては、お時間の都合上、本日は略儀ながら、あらかじめ席上に配付させていただきました。内容をご確認いただきますよう、お願ひいたします。委員の任期は、委嘱の日から令和3年3月31日までの2年間でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

3 文京区アカデミー推進協議会について

(1) 委員及び幹事紹介

- 細矢課長 続きます。委員及び幹事の紹介でございます。本日は第1回でございますので、皆様に自己紹介をお願いしたいと思います。私からお名前をお呼びしますので、ご起立いただき、恐れ入りますが簡単に自己紹介をしていただければと存じます。なお、発言の際は、お手数ですが、席上にマイクのスイッチがございますので、ボタンを押してマイクの電源を入れてからご発言をお願いいたします。また、発言が終わりましたら、マイクの電源をお切りいただくようお願いいたします。
- それでは、参考資料1をお開きください。「文京区アカデミー推進協議会委員名簿」の順にご紹介させていただきたいと思っております。それでは、山田徹雄（やまだてつお）委員でございます。
- 山田委員 山田徹雄でございます。どうかよろしくお願いたします。私は自分が研究分野としておりますのは、ドイツ経済で、ドイツ観光について研究をしております。どうかよろしくお願いたします。
- 田中委員 田中雅文でございます。どうぞよろしくお願いたします。私の専門はいわゆる生涯にわたって学ぶという意味での、生涯学習論でございます。どうぞよろしくお願いたします。
- 青木委員 青木でございます。順天堂大学のスポーツ健康科学部というところにおります。医学部は近くなんですけど、スポーツ健康科学部は千葉県の印西市の方にございまして、ちょっと遠方から来たんですけども。文京区との関わりは深いので、頑張らせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。
- 増田委員 文京アカデミア学習推進委員会の増田でございます。どうぞよろしくお願いたします。
- 井上委員 井上充代です。文京区スポーツ推進会の会長を務めさせていただいております。よろしくお願いたします。
- 酒井委員 文京区体育協会の酒井です。よろしくお願いたします。
- 高澤委員 シエナ・ウインド・オーケストラの事務局長高澤でございます。文京区さんとは2010年から提携させていただいております。よろしくお願いたします。
- 牧野委員 公益社団法人宝生会牧野でございます。宝生能楽堂という能楽の劇場を運営しております。定期公演を行っております。どうぞよろしくお願いたします。
- 白井委員 文京区観光協会の白井と申します。この会議は3回目と申しますか、出させていただいております。また今回もよろしくお願いたします。
- 関委員 東京商工会議所から参りました、関誠と申します。役員評議員を務めておまして、弊所の事業としましては、文京区にも事業所数の多い出版の仕事しております。今後ともよろしくお願いたします。
- 宮内委員 津和野町東京事務所の宮内と申します。島根県の津和野町東京事務所ござい

ます。文京区に事務所を開設して、今6年目で、私は赴任して4年目になります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

佃委員 アジア学生文化協会の佃といいます。留学生のお世話、日本語学校とやっております。文京区とは特に国際交流フェスタで一緒にさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

堀委員 公募区民の堀でございます。よろしくお願いいたします。住民の視点から発言をさせていただきたく思っております。よろしくお願いいたします。

山内委員 公募委員の山内豊です。よろしくお願いいたします。私は色々な文京区関連のところでですね、ボランティア活動を比較的やっております。今回公募区民としてお役に立てればと思っております。以上です。

高橋委員 公募区民の高橋由貴子でございます。小学校からずっと文京区で育っております。この年になっております。仕事は現在も続けておまして、古い商店なんですけれども、江戸時代から続く浮世絵版画の仕事をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

小島委員 公募区民の小島えりかと申します。どうぞよろしくお願いいたします。現在大学3年生ですので、まだまだ未熟な面もあると思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今井委員 今井瑛里子と申します。よろしくお願いいたします。私は区民で、親子4代目、文京区におまして、そういった面からもぜひ文京区に貢献できればと思っております。よろしくお願いいたします。

細矢課長 続きまして、区職員を紹介いたします。参考資料2「文京区アカデミー推進協議会幹事名簿」をご覧ください。小野アカデミー推進部長でございます。

小野部長 どうぞよろしくお願いいたします。

鈴木課長 よろしくよろしくお願いいたします。

木村課長 よろしくお祈いします。

日比谷課長 どうぞよろしくお願いいたします。

川崎図書館長 よろしくお祈いいたします。

細矢課長 最後に改めまして、私アカデミー推進課長細矢でございます。どうぞよろしくお願いいたします。次に事務局職員のご紹介でございますが、こちらは自己紹介とさせていただきます。ではお祈いいたします。

諸係長 すみません、後ろから。アカデミー推進課アカデミー推進係の諸と申します。この協議会の事務局もさせていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大澤係員 アカデミー推進係大澤と申します。よろしくお願いいたします。

川口室長 文化資源担当室文京ふるさと歴史館の川口と申します。引き続きよろしくお願いいたします。

渡邊係長 アカデミー推進課都市交流担当の渡邊と申します。よろしくお願いいたします。

山本係長 アカデミー推進課観光担当の山本と申します。よろしくお願いいたします。

鈴木係長 アカデミー推進課文化事業係の鈴木と申します。よろしくお願ひいたします。
小菅係長 スポーツ振興課スポーツ振興係の小菅と申します。よろしくお願ひいたします。
青木係長 スポーツ振興課施設担当の青木と申します。よろしくお願ひいたします。
池田係長 スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック担当の池田と申します。よろしくお願ひいたします。
鈴木係長 スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック担当の鈴木と申します。よろしくお願ひいたします。
萩原係員 アカデミー推進課アカデミー推進係の萩原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。
大河原係員 同じくアカデミー推進課アカデミー推進係の大河原と申します。よろしくお願ひいたします。
細矢課長 最後に計画の策定支援にあたります、コンサルタント会社の担当スタッフをご紹介いたします。株式会社創建大谷さん、氏原さんです。
大谷（事業者） 株式会社創建の大谷と申します。よろしくお願ひいたします。
氏原（事業者） よろしくお願ひいたします。

(2) 文京区アカデミー推進協議会の運営

細矢課長 以上でございます。次に、文京区アカデミー推進協議会の運営につきまして、ご説明させていただきます。参考資料3をお開きください。こちらは協議会についての決まり事を明記したものでございます。概要をご説明いたします。主に2番の「協議会の公開について」というところをご説明させていただきます。まず(1)のところですが、この協議会は原則公開として、区民の皆様へ傍聴を認め、会議の記録を公表してまいります。協議会の開催につきましては、場所、日時、傍聴の定員等、区ホームページに掲載して、周知をしてまいります。傍聴の定員は原則10名とし、先着順に行ってまいります。協議会の撮影につきましては、原則禁止ですが、予め会長の許可を受けた場合は可といたします。裏面に参りまして、協議会資料の取り扱いでございます。資料は会議終了後概ね1週間以内に、シビックセンター2階にあります、行政情報センターに配架するとともに、資料の体裁もありますので、可能な限り区のホームページで公開をいたします。会議録の取り扱いについてですが、協議会は全文記録方式で発言者の氏名を記した上で公開をいたします。内容の正確を期するため、発言された委員全員の確認を事前に行うようにいたしますので、公表まで2か月程度を要します。また、分科会につきましても、概要は要点記録として取りまとめ、公開をいたします。こちらも発言趣旨の正確を期するため、発言した委員全員の確認を事前に取りますので、公表までにやはり2か月程度、時間をちょうだいいたします。また、その他協議会の公開等に関し、必要な事項はこの協議会で定めていただくこととなります。

以上が簡単ではございますが、協議会の運営の説明となります。何かご不明な点ございますでしょうか。

田中委員 念のための確認なのですが、協議会記録の扱いで、発言者名を表記した記録方式という、どなたがどういことを発言したかが全部公開されるということになると思います。その場合、特別にこの委員会に対しては重要な情報だから発言したいけれども、これが公開されると色々問題があるときや場合は、委員の方が予めそういう風におっしゃりながら発言するのか、あるいは議事録案を確認の時に、ここは削除とか、いことをやっていただくというので、よろしいわけですね。

細矢課長 はい、そうですね。

田中委員 ということはまあ、安心してご発言いただけるということになるわけですね。

細矢課長 はい、わかりました。

細矢課長 はい、ありがとうございます。他にないようでしたら、了承ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(3) 会長・副会長の選任

細矢課長 それでは続きまして、会長・副会長の選出に入らせていただきたいと思います。協議会の設置要綱第5条2項により、会長を委員の互選により選任することになっております。

よろしければ、こちら事務局案となりますけれども、多くの知識及び経験をお持ちである学識経験者の山田委員にお願いしたいと存じますが、皆様いかがでしょうか。

(賛成の拍手)

細矢課長 それでは、賛成をいただきましたので、跡見学園女子大学名誉教授 山田徹雄委員にお願いしたいと思います。それでは山田委員、恐れ入りますが会長席の方にご移動をお願いいたします。それでは一言ご挨拶をいただきたいと思います。山田会長よろしくお願いたします。

山田会長 ただいまご紹介いただきました山田徹雄でございます。すでにこの会の主旨につきましては先ほど、小野アカデミー推進部長からお話ございましたので、特に私の方から付け加えることはございません。来年は東京オリンピック・パラリンピックの年ということで、大変この会も重要な責務を負うことになるであろうという風に思います。個人的には東京オリンピックを一生の間に2回も見ることができるようになるとは、実は夢にも思っておりませんでした。1964年の時、私は多分高校3年生くらいだったと思うんですが、そのときはサッカーのチケットがずっと売れ残っていて。なかなか席が埋まらない、という状況でしたが、今回はもう、そんなことはまずあり得ないような感じで、本当に隔世の感がしております。どうかよろしくお願いたします。

細矢課長 会長ありがとうございます。次に、会長を補佐する役割として、協議会設置要綱第5条4項により、副会長を置くことになっております。副会長は「会長が指名する」となっておりますので、山田会長にご指名をお願いしたいと思います。

- 山田会長 僭越ではございますが、副会長の方を推薦させていただきます。すでに平成 27 年度から、アカデミー推進協議会の委員としてご活躍をされており、かつ見識の非常に豊かな、日本女子大学人間社会学部教授の田中雅文委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。ありがとうございます。
- 細矢課長 それでは、田中委員に副会長をお願いしたいと思います。田中委員も副会長席へご移動をお願いいたします。それでは一言、ご挨拶をお願いしたいと思います。
- 田中副会長 田中でございます。今ご紹介いただきましたように、平成 27 年度から色々この会議の中で役割を担わせていただいております。専門は先ほど申し上げましたように、生涯学習論ですので、そういうことと合わせながら、できるだけいい形で委員会の中での提案なり何なりをまとめていくという形で考えております。どうぞよろしく願いいたします。会長の先生に倣いまして、東京オリンピックとの関係で行きますと、私は東京の大田区で育ったんですが、その頃小学校 4 年の時に東京オリンピックを迎えております。顔は若く見えますが、それなりの年でございます、懐かしい東京オリンピックですけれども、また今回ということで、新たな気持ちで迎えております。どうぞよろしく願いいたします。
- 細矢課長 ありがとうございます。それではこれより議事に入りますので、ここからの進行につきましては、山田会長をお願いしたいと思います。山田会長どうぞよろしく願いいたします。

4 議題

(1) 文京区アカデミー推進計画の改定について

- 山田会長 それではこれより次第 4 の議題に入っております。まず (1) 「アカデミー推進計画の改定について」に関して事務局より説明をお願いいたします。
- 細矢課長 はい。それでは資料 1 「文京区アカデミー推進計画の改定について」ご説明をさせていただきます。アカデミー推進計画は生涯学習・スポーツ・文化芸術に「文化施策」の観点から観光・国際交流を加えた 5 つの分野に関する施策を推進するための計画でございます。本日お配りいたしております、アカデミー推進計画、こちらの冊子をちょっと御覧ください。初めての方も多数いらっしゃいますので、簡単に、こんなことが書いてあるんだというところを、触りだけご説明させていただきたいと思います。
- それでは 2 ページをお開きください。計画策定の背景と経緯というのがございます。アカデミー推進計画は、もとは平成 4 年に策定されました、文京区生涯学習基本構想、こちらがもとになっておりまして、その後文京アカデミー構想、平成 17 年に策定しておりますが、そのアカデミー構想を経て、現在のアカデミー推進計画に至っております。
- アカデミー構想では、それまで教育委員会にありました部署を、平成 18 年、生涯学習・スポーツ・文化芸術を区長部局に移管し、平成 21 年に生涯学習・

スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の5つの分野の施策を管轄するアカデミー推進部を組織いたしました。ですので、アカデミー推進部自体、非常にまだまだ若い部でございます。そして、アカデミー推進部が所管する新たな計画として、アカデミー推進計画の第1期を平成23年に策定をいたしました。現在のアカデミー推進計画は、第2期でございます。

そして、3ページの計画の目的でございます。2番の計画のところ、目的は、というところがございます。文京区で暮らし、過ごす、あらゆる人たちが学びや出会い、交流等の観点から豊かな時間を過ごし、うるおいのある暮らしを送ることができるようにするもの、でございます。また、計画の位置づけというのが下に書いてございます。この点線囲みのところで、文京区基本構想、こちらはまた新たな計画を、策定するところがございますけれども、今のところは現在の文京区基本構想がありまして、その下に青い色で囲ってあります、文京区アカデミー推進計画というのがございます。ここでは、スポーツではスポーツ基本法というのがございまして、それに基づく計画ということでございまして、文化・芸術も現在は文化・芸術の基本法がございまして、推進計画を作ることになっておりますので、これも法の中での枠組みというのがございます。ですので、一応このような体系の中になっております。

6ページでございます。こちらが基本理念、「区内まるごとキャンパスに」というものでございます。いつでも、どこでも、誰でもが学び、交流することを目指す、ということで、新しい価値を創造することで新たな「文の京」を区民と共に生み出すようなまち、「区内まるごとキャンパスに」を実現するというものでございます。また現在、この6ページの下段に、この計画期間中に先ほどからお話でございます、オリンピック・パラリンピックが開催されます。ですので、その将来の文京区、並びに区民にとって残すべきレガシー、有益な遺産でございますが、これが何かを見極め、蓄積された価値を生かしつつ、それを磨き、後世に引き継ぐことが求められています、ということで、こちらの取り組みをしているところでございます。

7ページでございます。こちらが4つの共通目標ということで、本計画では5つの分野を通じて実現する共通目標を設定しております。こちらは後程ご覧ください。

最後に、10ページ、11ページ、こちらが体系図になります。左側に「区内まるごとキャンパスに」という基本理念のもとに、4つの共通目標がございまして、それに基づく5つの分野ということで、この生涯学習から国際交流までございます。それぞれ分野別の目標を掲げてございます。

また、横断的施策ということで、緑の線で囲っておりますけれども、これが下の方ですね。横断的施策というのがございまして、情報の収集、共有、発信と。協働する人材や育成、東京オリンピック・パラリンピックということで、この3本の横串と言っておりますが、こちらのそれぞれに共通するものということで、この横断的施策を取り上げてございます。

以上が現在の計画について、簡単に説明させていただきました。

資料1にお戻りいただきまして、最後の段落でございます。アカデミー推進計画の改定、これは再来年、令和3年から7年度の計画になりますけれども、「これまでの計画を引き継ぎながら、本区が有する多彩で豊かな文化・歴史・学びに関する資源の保存・活用や、東京2020大会のレガシーの継承に加え、新たな価値を創造し、豊かな区民生活の発展に向けた計画を目指します」ということで、これから皆様方に策定のご検討をいただくものでございます。資料1についての説明は以上でございます。

山田会長

ただいま事務局より説明をいただきましたが、何かご質問ございますでしょうか。ご質問ございます場合は、まず挙手をお願いいたします。こちらから挙手なされた方を指名いたしますが、その後お名前を名乗っていただければと思います。よろしくをお願いいたします。特にございませんでしょうか。それではこの議題1についてお認めいただけますでしょうか。よろしくをお願いいたします。それでは続きまして、議題2に参ります。「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査の実施について」、こちらも事務局よりご説明をお願いいたします。はい、それでは資料2「アカデミー計画に関する実態調査の実施について」をご覧ください。

細矢課長

まず目的でございますが、今回の改定にあたりまして、5分野に関する区民の意識、活動の状況及び要望等を把握するため、実態調査を行うものでございます。対象者及び調査方法ですが、まず区民向け調査につきましては、20歳以上の区民2000人程度を住民基本台帳から無作為に抽出し、郵送配布及び郵送回収にて実施するものでございます。前回も、5年前に実施しております。そちらでは1974件送付いたしまして、915件の回答がございました。回答率は46.4%でございました。

また、(2)の事業参加者向けの調査でございます。こちらはアカデミー推進部の中で様々な事業をやっておりますが、そちらの事業の参加者に対しまして、ピックアップをさせていただきますけれども、この参加者に対し、アンケートを直接配布及び回収にて実施をするものでございます。おおよそ400人からの回収があれば、という風に考えているところでございます。こちらの事業参加者向けにつきましては、どういう事業に、というところはこれから検討していくところでございます。

調査項目でございます。こちらは区民向け調査の調査項目ですけれども、これは本協議会並びに後程ご説明いたしますが、庁内にあります会議体のアカデミー推進本部で検討し、設計をするものでございます。調査項目は別紙ということで、次のページに前回5年前の調査項目を記載させていただいております。大体こういうことを区民の皆さんに聞いているというものでございます。ですので、これを参考に今回また、新たな項目を追加してアンケートを実施していきたいと考えているところでございます。調査時期は本年9月から11月ということです。

スケジュールですが、本日の推進協議会でご報告をし、また今月の定例議会でもご報告をいたします。次の8月26日の第2回アカデミー推進協議会で、調査項目の検討を皆様にご議論をしていただきます。そして、調査をかけさせていただくと。そして来年の1月に第3回アカデミー推進協議会で調査結果のご報告をさせていただきます、翌月の定例議会でのご報告という形で、こちらの実態調査につきましては、進めていきたいと考えているところでございます。ご説明は以上でございます。

山田会長 ただいま事務局からご説明がありました通りでございます。その中に調査項目というのがございましたが、ここにあげておりますのは、あくまでも前回の調査項目で、参考資料ということでございます。次回の協議会で、また具体的にお示しいただけるということでございますので、そこで改めて議論することはできますが、今の時点で何かご意見、ご質問がありましたら、少しお時間を取りまして、お受けしたいと思えます。いかがでしょうか。はい、どうぞ。

今井委員 調査方法についての質問ですけれども、今現在、区民の方の確か4%くらいが外国の方ということで、調査するときの言語はどのように想定されているでしょうか。

細矢課長 外国人の調査につきましては、また別に調査をさせていただきたいと。この方法につきまして、どういう風にとというのは検討させていただきますけれども。ですので、この2000人のアンケートにつきましては、日本語のみということで進めていきたいと思えます。外国人につきましては、外国人を対象とした事業もございまして、そこでアンケートを取るという方法もございまして、そういう中で進めさせていただきたいと思っております。

山田会長 よろしいでしょうか。他に何かございましてでしょうか。はい、どうぞ。
堀委員 ちょっとお聞きしたいんですが、満20歳というこだわりと、2000人というところなんですが、まず20歳について何か、この基準を設けた理由はありますか。例えば18歳とか色々考え方はあるかと思うんです。それからあと区民の2000人なんですが、これは逆に先生方にお聞きした方がいいのかも知れませんが、サンプルサイズとしていかがなものか、ということですが。以上です。

細矢課長 20歳ということですが、前回の調査との比較、5年前にもやっております。この時も20歳で行っております。また、10歳ごとの比較ということで、比較をする場合にもですね。やはり18歳ですと、ちょっと人数が足りなくなってしまうということもございまして。

確かに選挙権が今18歳ということもございまして。また2020年には民法改正というのがございまして、その時にはそういうところも考えていかなければいけないのかな、とは思っておりますけれども、今回につきましては、前回との比較、並びに、その10歳刻みのグラフの比較というところを考えまして、20歳ということで、させていただいております。

山田会長 サンプルについてということですが、まったくその統計的な見地だけで言いますと、サンプル数100以上あれば有意であると、いう風に考えられます。先ほど

のお話ですと、400名の回答を目標とするということでしたね、確か。

細矢課長 事業の方は400名、こちらは前回2000人に送って、46%かえってきたと。

山田会長 ということですから、1000弱ということですね。ですから統計的には問題ないという風に考えます。他に何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

小島委員 失礼します。このアカデミー推進計画の、最初のこちらの概要版の方に、区民はもとより、区内の大学や企業に通う人、更には仕事や観光で訪れる人も含め、ということで、対象が区民の方以上に、在勤・在学の方だったりとかも、このアカデミー推進計画はされていると思うんですけども、そのような在勤・在学の方々にも、このアンケートの対象を広げるといったことは。調査の関係上難しいとは思いますが、必要なのではないかな、という風に感じました。この点についてのご意見を伺いたいです。

細矢課長 確かに区民という概念の中に、私ども在住・在勤・在学ということで、在勤と在学の方も入れております。ですけども、今回の2000人の方につきましては、在住の方のみをサンプルとして出させていただいております。今回事業アンケートがございまして、そちらは当然在住・在勤・在学の方も多数いらっしゃると思いますので、ご意見もいただけるという風に考えているところでございます。

山田会長 よろしいでしょうか。他に何かございますでしょうか。

田中副会長 ちょっと私もよろしいですか。調査の件なんですけど、前回どういう内容だったか正確には覚えていないんですけども、項目を資料2、別紙というところで見ると、例えば生涯学習という分野の中で、これだけ並んでおります。で、アンケートのデータをどう使うかということの1つは、以前からの変化を見る、ということなので、基本は同じような項目を今回も聞く、ということで、変化が見れるということはあると思います。ただ一方で、全国的な動向はどうなっているかということのも、一応は文京区の状況を相対化する意味で、意義があるとは思いますが。内閣府が最近行いました生涯学習の調査結果をみると、二つの特徴があります。1つは生涯学習という言葉で以前は調査していたものを、今回は「学習」という言葉に変えているということと、もう1つは生涯学習(学習)の分野の実態を調査せずに形態のみを聞いていることです。後者については注目すべき回答結果が出ており、インターネットを通して学ぶというのが一番高い回答率になっています。これはこれまでの調査の結果とかなり違います。ですので、この内閣府調査もご覧いただきながら、場合によっては少し修正するというのも、考えてもいいのではないかと思います。

細矢課長 はい。では先生のご意見を参考にさせていただきながら、進めていきたいと思えます。

山田会長 それではこの2の「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査の実施について」お認めいただけますでしょうか。はい、ありがとうございました。

(3) 文京区アカデミー推進協議会の進め方について

山田会長

では次に参ります。(3)「文京区アカデミー推進協議会の進め方について」、こちら事務局から説明をお願いいたします。

細矢課長

はい、それでは資料3「文京区アカデミー推進協議会の進め方について」、ご説明をいたします。

まず概要でございます。アカデミー推進協議会では、次の事項について協議・検討を行います。まず、令和元年度、今年度でございますが、前年度の事業実績、こちらは各所管で実施しておりますアカデミー推進計画に関する事業につきまして、事業実績を出していただいたものでございますけれども、これと実態調査の結果を参考にし、現行計画の推進状況や実現度等の視点から、点検・評価を実施するものでございます。来年度につきましては、引き続き現行計画の点検・評価を実施するとともに、実態調査及び点検・評価結果などをもとに、分野ごとの課題や目標などを検討し、計画改定を行ってまいります。

2番のところでございます。(1)検討体制です。協議会には分野ごとの点検・評価、これは今年度でございます。そして来年度はその分野ごとの点検・評価と、新たな計画の素案作成ということで、両方が関わってくるところでございますけれども、そのために3つの分科会を設置するものでございます。分科会は以下の表でございますが、まず分野。生涯学習・文化芸術、こちらを生涯学習・文化芸術分科会にしてございます。次に観光・交流、こちらの分野は観光・交流分科会でございます。そしてスポーツの分野につきましては、これは単独でスポーツ分科会ということで、以上3つの分科会を設置いたします。ですので、この分科会では、主に検討するものは現行計画の点検・評価と、新たな計画の方向性、素案の検討をするものでございます。

続きまして、実施手順でございます。こちらは今年度の点検・評価につきましての手順でございます。来年度の手順につきましては、また今年度最終回、または来年度の初回でご説明をさせていただくことになるかと思っております。まず、こちらに記載の通りでございますけれども、皆様方にやっていただくのは、この手順3、分科会で分野別に評価をしていただく、ということでございます。そしてそのあと、手順4で協議会に分科会の結果を報告し、計画全体としての評価を実施していただきます。それ以降につきましては、庁内の推進本部・幹事会、また議会報告という流れになってございます。ですので、今回、今年度の皆様方のところでは、手順3と4をお願いするものでございます。ご説明は以上です。

山田会長

ただいま事務局より説明がございましたように、協議会のもとに3つの分科会を設けるということ。その分科会のもとで点検・評価を行っていくと。また、その分科会での点検・評価につきまして、皆様にご協力をお願いしたいというお願いでございます。ただいまの点につきまして、何かご質問ございますでしょうか。はい、どうぞ。

牧野委員

私も平成26年か7年から、この推進協議会の方で参加させていただいて、今のこの、平成28年の推進計画を作成するところも一応参加させていただいた

んですけども、まずその、これの計画をもちろん今回、どういう風に変えていくかということもありますけれども、要するに平成30年度、前年度の各分野の事業について、どのように点検・評価されているかというところのチェックということだったんですが、昨年とこの分野の分け方が変わっているというところがあって、昨年は生涯学習というのが1つでくりになっていたと。で、文化・芸術とスポーツでくりになっていたと。実際今、文京区さんがやられている事業、昨年の場合ですと、昨年の資料を見ますと全体で320ほどありまして、そのうちの半分くらいが生涯学習に関わる事業になっているということで、文化・芸術と合わせて、多分ここだけで200以上の事業があるのかな、ということで、ちょっと少しアンバランスだな、ということを感じたものですから。今後どういう風に進めていただくかというのは、これから考えていただけるんだと思うんですけども。何かちょっと、今の時点でお考えがあれば、伺いたいと思います。

細矢課長

はい、委員のおっしゃる通りですね。昨年度までの2年間は生涯学習が単独、ということで文化・芸術とスポーツが一緒でございました。今年度からの2年間につきましては、やはり昨年度までの検討のプロセスを鑑みまして、やはりなかなか文化・芸術とスポーツというのは、何と言いますか、議論がどうなのかな、というところもございまして、確かに生涯学習が多いということはございます。ですが、やはり生涯学習と文化・芸術でご議論をいただいた方が、より一層効果が出るのではないかという風に判断をいたしまして、ここを一緒にさせていただいたところです。

ただ、量が多いということは想定できますので、どういうところをご検討いただくか、ご協議いただくかというところを明確化させていただいた上で、ご議論いただくとか。ちょっと工夫はさせていただきたいと思っているところでございます。

山田会長

牧野委員からは、量的なアンバランスについてご質問をいただきましたが、事務局の方からは質的な面での親和性から、こういうように分けているという回答でございます。よろしいでしょうか。他に何かご質問ございますか。では、3番目の「文京区アカデミー推進協議会の進め方について」、お認めいただけますでしょうか。はい、ありがとうございます。

(4) その他

山田会長

議題はこの3点でございますが、(4)「その他」といたしまして、事務局から1つご報告がございます。よろしくお願いたします

細矢課長

はい、それでは最後に本年度のスケジュール等につきましてご説明をいたします。それでは資料4をご覧ください。横の資料になりますけれども、こちらの真ん中から左側に、アカデミー推進本部というのが上段にございます。右側の少し網掛けになっているところが、アカデミー推進協議会という名称になってございます。ですので、こちらのアカデミー推進協議会、皆様方の会でござい

ます。協議会と分科会ということで、協議会が第1回から第2回、第3回、そして分科会が先ほどご説明しましたけれども、5分野3分科会ということで、こちらを第2回と第3回の間、10月から11月くらいで、各会2回、ですから3分野2回ずつということで、延べ6回、それぞれ開かせていただきたいと考えております。

左側のアカデミー推進本部につきましては、幹事会と区長が本部長であります、本部ということで、内部の会議体でございます。

ですので、皆様方には、本日6月10日、そして第2回協議会が8月26日ということで、すみません。こちらにつきましては、事務局の方で日にちを予め設定させていただいております。夏休み期間中ということで大変申し訳ございませんけれども、8月26日の月曜日、午後6時半から、やはり5階の会議室で行わせていただきます。またご案内は、別途させていただきたいと思っております。そして第3回を1月に開催したいと思っております。こちらでは計画の点検・評価の結果と、実態調査の結果ということで、結果につきましてご検討・ご議論をいただくということになります。

それから、分科会でございます。こちらにつきましては、先ほど3分科会というお話がございました。学識経験者3名の方に分科会の座長をお願いし、運営をしていきたいと思っております。まず生涯学習・文化・芸術の分科会につきましては、座長を田中先生をお願いしたいと思っております。次に観光・交流分野の分科会は、座長を山田先生をお願いしたいと思っております。次に、スポーツ分野の分科会は、座長を青木先生をお願いしたいと思っております。

そして、学識経験者以外の委員の皆様にも、各分科会に分かれてご審議をお願いしたいと思っております。団体推薦の委員の皆様には、まず事務局で分科会を指定させていただきます。その上で更に別の分科会への参加のご希望がありましたら、事務局までお申し出をいただきたいと思っております。

また、区民委員につきましても、ご希望の分科会をお申し出いただき、また、こちらでも複数の分科会にご希望される場合は、そのようにお申し出をいただきたいと思っております。そのお申し出の確認につきましては、後日、分野別分科会希望調査票を、先生方を除く全員の方にご送付をさせていただきます。ですので、ご記入の上、事務局までご返送をお願いしたいと思っております。まずは1つ、どこかの分科会をご希望いただくということになります。団体の方はすでにその分科会というのは決まっているわけですが、区民委員の皆様には、ご希望の分科会をお選びいただくと。その他に、希望される方は、希望のものを別途お書きいただくということで、調査票をお出ししたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、分科会の委員の人数につきまして、バランスを鑑みますので、場合によってはご相談をさせていただくこともございますけれども、基本的にはご希望に沿った形で、分科会へのご参加をお願いしたいと思っております。

続けて、最後に3点ほど事務連絡をさせていただきたいと思います。1点目ですが、謝礼につきましては、会議ごとに指定の口座にお振込みをいたします。2点目は、お手元でございます、閲覧用のアカデミー推進計画の冊子及び概要版につきましては、回収をさせていただきますので、恐れ入りますがお机の上に置いたままをお願いしたいと思います。また、本日の資料につきましては、基本的にはお持ち帰りをお願いするところでございますが、お持ち帰りできない場合は、私どもで次回までお預かりいたしますので、会議終了後に事務局の方へお声掛けをお願いしたいと思います。また、本日雨が降っておりますので、傘をお忘れないようにお願いしたいと思います。最後3点目です。先ほどの繰り返しになりますが、次回の協議会は8月26日月曜日、18時30分から5階の会議室になりますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上でございます。

山田会長

次回の予定をはじめといたしまして、今年度のスケジュールについて、ご説明があり、このようにお願いしたいということ。それから分科会のご希望について、皆さんから募りたいということでもございました。何かご質問ありますでしょうか。はい、どうぞ。

山内委員

10月以降の日程はいつ頃決まりますか。

細矢課長

1月の協議会につきましては、ちょっと今すぐには難しいですけれども、なるべく早めにとは考えております。分科会につきましては、第2回協議会でご案内をさせていただきたいということと、あと第3回の協議会につきましては、分科会の第2回のところでご案内ができればと思っております。

5 閉会

山田会長

よろしいでしょうか。本日の議題は以上でございます。本日の会議を終了いたします。長い時間ありがとうございました。

以上